

第 1 1 回

2 0 2 3 年 度 事 業 報 告 書 及 び 決 算 書

2 0 2 3 年 4 月 1 日 から

2 0 2 4 年 3 月 3 1 日 まで

一般財団法人 太田総合病院

目 次

◇事業報告

I. 事業概況	1
II. 法人概況	2
III. 業務の適正の体制と運用状況	3
IV. 事業の状況	
1. 正味財産増減関係	5
2. 役員会	5
3. 医療保険関係	6
4. 介護保険関係	7
5. 公共賛助事業	8
6. 研修事業	9
7. 研究に関する事業	9
8. 養成事業	9
9. 育英事業	9
10. 保育事業	9
11. 無料低額診療	9
12. 庶務事項	10
13. 主な行事報告	10

◇決算

1. 貸借対照表	13
2. 正味財産増減計算書	15

◇監査報告書	19
--------	----

◇独立監査人の監査報告書	20
--------------	----

◇役員名簿	23
-------	----

I 事業概況

2023年5月にWHOが新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言の終了を発表し、世界はパンデミック後の回復と新たな正常化に向けた動きを加速させた。国内においても感染法上の位置づけが「5類」へ移行となり、社会活動は、ほぼコロナ禍前に戻りつつある。しかし、物価高が多く国々で経済に大きな影響を与え、国内経済にも影響を及ぼし、生活費の上昇や企業のコスト増加が課題となった。特にエネルギー価格の高騰は消費者と企業にとって多大なる負担となった。技術面では、生成AIの進展が産業全般にわたり革新を促し、デジタル技術のさらなる発展が見られた。医療においては、医師の働き方改革への準備が進められ、医療現場の労働環境改善に向けた取り組みが進展した。また、2024年1月には能登半島地震が発生し、今もなお続く復興の中、地域医療における迅速な対応の重要性を再認識させられた。

当法人は、6月に理事長が変更となり、労働力不足や物価上昇が顕著となる中、収益力の改善、職員の働きやすい環境整備、業務の効率化等、直面する経営課題に対処し、持続可能な経営体制を確立する目的で、経営計画策定・実行プロジェクトを立ち上げた。太田西ノ内病院においては、4月に病院長が変更、新たな体制となり、5月に電子カルテを更新、10月に電磁波温熱療法装置（ハイパーサーミア）を導入、1月には高機能血管造影装置を本格稼働させるなど、業務の効率化、高水準の医療体制の整備を図った。太田熱海病院においては、1月に電子カルテを導入、介護老人保健施設においては、介護システムを導入するなど、法人全体として急性期から回復期、生活期まで一貫して切れ目のない医療介護サービス提供の実現に注力した。

財務的には、アフターコロナにおける患者数が増加せず、病床確保支援事業補助金の大幅な減額に加え、原油や物価高騰、電気料金の引き上げ等の費用増など厳しい経営環境を反映し、業績については課題を残す結果となった。

医療介護を取り巻く環境は引き続き厳しい状況が続くことが予想されるが、地域の期待に応えるべく、質の高い医療介護サービスを提供し、地域に信頼される病院として責任を果たしていく。

理事長 太田 善雄

Ⅱ 法人概況

- 法人名 一般財団法人太田総合病院
- 所在地 福島県郡山市西ノ内二丁目6番18号
- 代表理事 太田 善雄（理事長）
- 設立年月日 昭和26年10月6日（一般財団法人への移行認可 平成25年4月1日）
- 目的 生命の尊厳を基本理念として、地域住民の健康保持及び福祉増進に寄与することを自らの使命とし、地域医療の向上を図るため、関係各法の精神に則り、保健・医療・福祉の向上に関する活動を推進するほか、これらに関連する公益事業及び医学研究事業を行い、もって地域社会に継続的に貢献する。
- 事業内容
- (1) 病院等、医療の提供に必要な施設の運営
 - (2) 介護保険に関する事業及び事業所等の運営
 - (3) 救急医療と災害救助の推進に関する事業
 - (4) 周産期及び新生児医療に関する研究及び事業
 - (5) 難病、がんの治療及び研究に関する事業
 - (6) 感染症の予防、治療に関する研究及び事業
 - (7) 健康増進及び予防医学に関する事業
 - (8) 公衆衛生、精神保健、労働衛生及び学校保健等に関する事業
 - (9) 訪問診療、訪問看護等の提供に関する事業
 - (10) 医師等の研修及び臨床研修病院に関する事業
 - (11) 医歯薬学学生等の育英事業
 - (12) 看護師の養成に関する事業
 - (13) 地域の保健・医療・福祉を担う人材の育成及び支援事業
 - (14) 医歯薬学研究の奨励及び助成事業
 - (15) 社会福祉事業に対する助成事業
 - (16) 生活困窮者等に対する無料又は低額診療事業
 - (17) その他この法人の目的達成に必要と認める事業

- 許認可事項 当事業年度内における定款の許認可に関する変更はないが、定款の変更は以下のとおり。
- ・第8章の名称及び第41条の一部訂正
- 本改正は、評議員会決議の日（2023年6月24日）より施行。

Ⅲ 業務の適正の体制と運用状況

1. 本法人は理事会において、業務の適正を確保するための内部統制体制に関して、次のとおり決議しています。（平成25年6月7日理事会）

（1）法令等遵守体制

- ①役員及び従業員並びにこの法人の事業に従事するすべての者（以下「役職員等」という。）の職務の執行が法令及び定款（以下「法令等」という。）に適合することを確保する体制を整備する。
- ②コンプライアンスに関連した規程類を整備し、役職員等はこれを遵守する。
- ③コンプライアンスに違反する重要な事実を早期に発見し、必要な是正措置を講ずることが可能となるよう内部通報制度を整備し、これを適切に運営する。
- ④反社会的勢力と一切の関係を持たず、反社会的勢力に対しては組織全体として毅然とした態度で対応し、反社会的勢力からの不当な要求を断固として拒絶する。

（2）理事の職務執行情報保全及び管理体制

- ①理事会運営規程等の定めに従い、理事会、常任理事会の議事録のほか、理事の職務の執行に係る文書等を適切に保存し、理事及び監事から要請があった場合適時に閲覧できるよう管理する。

（3）リスク管理体制

- ①リスク管理を行うことの重要性を認識し、業務遂行上認識すべきリスクの種類に応じた管理を適切に行うための規程類を整備する。
- ②リスク管理を統括する部署を置くとともに、各種のリスク管理を有効に機能させるための組織を設置する。

（4）理事の職務執行にかかわる体制

- ①理事の職務の執行が効率的に行われることを確保するため、必要な規程等を整備する。

（5）内部監査体制

- ①従業員及びこの法人の事業に従事するすべての者（以下「職員等」という。）の業務の適正性及び健全性を確保するため、内部監査規程を定め、内部監査を行う。

（6）監事の職務遂行に関する体制

- ①役職員等は、この法人に著しい損害を及ぼすおそれのある事実、不正の行為又は法令等に違反する重大な事実を知った場合、当該事実について速やかに監事に報告する。
- ②監事は、監査を実効的に行うため必要と判断したときは、役職員等に職務の執行状況について、いつでも報告を求めることができる。報告を求められた役職員等は、その求めに応じて速やかに報告しなければならない。

③監事は、理事会のほか、常任理事会その他の重要な会議に出席し、意見を述べるができるとともに、議事録その他の関係書類を閲覧することができる。

④監事は、実効的な監査の実施のため必要と認める場合は、会計監査人、弁護士等から監査業務に関する助言を求めることができる。

(7) 監事の職務遂行の補助に関する体制

①監事は、法人運営推進本部の職員を職務の補助に当らせることができる。

②①に規定する職員は、監事の指示に従い職務を遂行する。

③監事は、必要と認めるときは、①の職員以外の職員等を臨時に職務の補助に当たらせることができる。

④監事の職務を補助した職員等に対する異動その他の人事に関する事項の決定について事前に監事の同意を得る。

2. 上記、業務の適正を確保するための体制の運用状況の概要は、以下のとおりです。

本法人は、内部統制体制の基本方針に基づき、運用上重要な不備が無いが常に管理しています。特に、監査室が中心となり内部監査等を実施し、内部統制の重要性とコンプライアンスに対する意識付けを行い、本法人全体を統括・推進しています。

具体的には、内部監査規程に基づき附属病院・施設、法人運営推進本部などを対象とした監査を実施し、法令や法人規程等に則った日常会計処理・重要保管物管理等の状況を適切に監視しています。2023年度は、対象となる各病院・施設の業務状況を踏まえ、実地監査に代えて自主監査を実施しましたが、直ちに是正を必要とする事項はありませんでした。

その他、法令改正等に関連した規程の整備、業務に起因したリスクへの対応等の啓発や関連研修会等の適宜開催、理事会や常任理事会の議事録及び各種文書等の管理徹底、職員全般に渡る教育研修や安全管理研修等の研修を定期的に行うなど、常に内部統制に係る取組みや意識付けを行っています。

IV 事業の状況

1 . 正味財産増減関係

(1) 財産及び正味財産増減の概要

単位：百万円

項目	2019	2020	2021	2022	2023 (当年度)	対2022	対2019
経常収益（売上高）	30,959	33,001	29,453	29,379	26,661	△ 2,718	△ 4,298
(内訳)							
医業収益	29,725	26,819	24,082	24,777	24,469	△ 308	△ 5,256
介護収益	644	625	635	577	552	△ 25	△ 92
その他の収益	590	5,557	4,736	4,024	1,640	△ 2,384	1,050
うち受取補助金	233	5,208	5,002	3,672	1,304	△ 2,368	1,071
当期一般正味財産増減額（最終損益）	553	3,758	1,040	271	△ 2,538	△ 2,809	△ 3,091
一般正味財産期末残高	1,775	5,533	6,572	6,843	4,305	△ 2,538	2,531
指定正味財産期末残高	1,072	1,315	1,356	1,276	1,213	△ 63	141
正味財産	2,847	6,847	7,928	8,119	5,518	△ 2,601	2,671

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したものの、患者の受診控えや医師不足等の影響により医業収益は十分な回復には至らず、補助金収益を含めても当期一般正味財産増減額（最終損益）は2,538百万円の大幅な赤字となりました。

(2) 経営計画策定・実行プロジェクト

医業収益の回復が喫緊の重要課題と捉え病院内に「経営計画策定・実行プロジェクト」を立ち上げました。今後、当該プロジェクトで策定する具体的なアクションプランを着実に実行に移し、医業収益回復に注力してまいります。

2 . 役員会

本年度の理事会・評議員会及び常任理事会の開催状況

(1) 理事会

○定例

- ①日時・会場 2023年6月9日（金）午後3時
附属太田西ノ内病院 地域医療研修センター会議室1
- ②日時・会場 2024年3月23日（土）午後1時
附属太田看護専門学校 講堂

○臨時

- ①日時・会場 2023年6月24日（土）午後2時45分
附属太田看護専門学校 カンファレンス室
- ②日時・会場 2023年6月24日（土）午後4時48分
附属太田看護専門学校 カンファレンス室
- ③形態 決議の省略の方法による
決議日 2024年2月21日（水）

(2) 評議員会

①日時・会場 2023年6月24日(土) 午後3時
附属太田看護専門学校 講堂

②日時・会場 2024年3月23日(土) 午後2時
附属太田看護専門学校 講堂

(3) 常任理事会

○定例

①2023年4月11日	⑦	7月25日	⑬	10月24日	⑲	2月13日
② 4月25日	⑧	8月8日	⑭	11月14日	⑳	2月27日
③ 5月16日	⑨	8月22日	⑮	11月28日	㉑	3月12日
④ 5月30日	⑩	9月12日	⑯	12月12日	㉒	3月26日
⑤ 6月13日	⑪	9月26日	⑰	2024年1月9日		
⑥ 7月11日	⑫	10月10日	⑱	1月23日		

○持廻り

なし

3. 医療保険関係

(1) 患者数

	入院				外来			
	2022	2023	前期増減	前期比率(%)	2022	2023	前期増減	前期比率(%)
総患者数	216,586	221,086	4,500	2.1	428,592	405,049	△ 23,543	△ 5.5
一日平均	593.4	604.1	10.7	1.8	1,452.9	1,373.0	△ 79.9	△ 5.5

(2) MFICU・NICU・GCU 患者数

(人)

MFICU	2022	2023	前期増減	前期比率(%)
実人数	12	6	△ 6	△ 50.0
延患者数	14	14	0	0.0

(人)

NICU	2022	2023	前期増減	前期比率(%)
実人数	174	177	3	1.7
延患者数	3,185	3,240	55	1.7

(人)

GCU	2022	2023	前期増減	前期比率(%)
実人数	188	175	△ 13	△ 6.9
延患者数	2,569	3,000	431	16.8

(3) 人間ドック

(人)

	2022	2023	前期増減	前期比率(%)
日帰り	4,226	4,102	△ 124	△ 2.9
一泊二日	214	196	△ 18	△ 8.4
二泊三日	4	8	4	100.0
計	4,444	4,306	△ 138	△ 3.1

(4) 救急医療

①救命救急センター

(人)

	2022	2023	前期増減	前期比率(%)
総患者数	2,443	2,662	219	9.0
一日平均	6.7	7.3	0.6	9.0

②ドクターカーの出動回数 4回

③郡山地方広域消防組合の高規格救急車への当院医師の同乗回数 9回

④救急車輛による搬入状況

(件)

2022	2023	前期増減	前期比率(%)
4,378	5,080	702	16.0

(5) 医療器械類の整備

電子カルテシステム(ソフトウェア)	一式	(更新)	(西ノ内)
電子カルテシステム(ハードウェア) ※リース	一式	(〃)	(〃)
血管造影装置(高機能血管造影室)	一式	(新規)	(〃)
医療用LED診療灯(高機能血管造影室)	一式	(〃)	(〃)
大動脈内バルーンポンプ(高機能血管造影室)	一式	(〃)	(〃)
心臓カテーテルモニタリングシステム(高機能血管造影室)	一式	(〃)	(〃)
汎用超音波画像診断装置(高機能血管造影室)	二式	(〃)	(〃)
生体情報モニタ(高機能血管造影室)	一式	(〃)	(〃)
麻酔システム(高機能血管造影室)	一式	(〃)	(〃)
高周波式ハイパーサーミア治療器	一式	(〃)	(〃)
臨床化学自動分析装置/分注機(検体検査搬送システム)	三式	(〃)	(〃)
軽量移動型デジタルX線撮影装置	一式	(〃)	(〃)
超音波診断装置	一式	(〃)	(〃)
人工心肺装置	一式	(更新)	(〃)
麻酔システム	四式	(〃)	(〃)
内視鏡用超音波観測装置	一式	(〃)	(〃)
末梢血幹細胞採取装置	一式	(〃)	(〃)
上部消化管汎用ビデオスコープ	三式	(〃)	(〃)
X線移動型装置	一式	(〃)	(〃)
大腸ビデオスコープ	二式	(〃)	(〃)
無影灯	二式	(〃)	(〃)
呼吸機能測定装置	一式	(〃)	(〃)
血液浄化装置	一式	(〃)	(〃)
凍結組織切片作成装置	一式	(〃)	(〃)
内視鏡システム	一式	(〃)	(〃)
電子カルテシステム(ソフトウェア)	一式	(新規)	(熱海)
電子カルテシステム(ハードウェア) ※リース	一式	(〃)	(〃)
上部消化管汎用ビデオスコープ	三式	(〃)	(〃)
YAGレーザー/光凝固レーザー	二式	(更新)	(〃)
介護システム	一式	(〃)	(老健)

4 . 介 護 保 険 関 係

(1) 介護老人保健施設

(人)

	2022	2023	前期増減	前期比率(%)
在所者延数	26,241	23,921	△ 2,320	△ 8.8
一日平均	71.9	65.4	△ 6.5	△ 9.0

(2) 訪問看護ステーション

(件)

	2022	2023	前期増減	前期比率(%)
訪問件数	8,384	8,342	△ 42	△ 0.5

(3) 介護保険事業所

(件)

	2022	2023	前期増減	前期比率(%)
訪問調査件数	8	117	109	1362.5
ケアプラン作成	2,628	1,886	△ 742	△ 28.2

(4) 通所リハビリテーション

(人)

	2022	2023	前期増減	前期比率(%)
利用者数	6,145	6,439	294	4.8
一日平均	25.1	26.5	1.4	5.6

5 . 公 共 賛 助 事 業

(1) 事業援助・研究援助等

①公共機関・公共施設への事業援助	8件	320千円
②関連大学への研究援助	34件	30,300千円
③各種関連学会への事業援助	4件	500千円
④各種行事等への賛助	16件	748千円

(2) 献血事業協力

日赤血液センター採血バス及び採血ルームへの医師派遣 延べ 31名

(3) 公衆衛生活動

①健康診断嘱託事業所及び校医契約学校	
・嘱託事業所	25社
・校医契約学校	17校
②癌検診	5,268件
③福島県「県民健康調査」甲状腺検査	188件
④地域の健康増進、精神衛生活動へのスタッフ派遣	
医師・看護師他	延べ 59名

- ⑤各種行事、修学旅行等への救護班派遣
医師・看護師他 延べ 17名
- ⑥各市町村主催の機能訓練事業への派遣
理学・作業療法士他 延べ 25名
- ⑦仮設住宅等における生活機能支援事業への派遣
理学・作業療法士他 延べ 15名

⑧地域包括支援センター（郡山市委託事業）

	延べ利用数(件)
郡山中央地域包括支援センター	20,896
熱海地域包括支援センター	10,316

⑨太田総合病院公開講演会

開催日：2023年7月1日（～10月31日）
開催方法：ホームページに講演動画を掲載
講演：太田西ノ内病院 耳鼻科 部長 鈴木政博 先生
「意外と知らないけど身近な唾液腺の病気」

⑩市民公開講座

開催日：2024年2月10日
会場：熱海多目的交流施設（ほっとあたま）多目的ホール
講演：公立大学法人 福島県立医科大学
整形外科講座 教授 龍 啓之助 先生
（太田熱海病院 ひざ・股関節外来）
「ひざと股関節の痛みの原因と治療法」
参加人数：249名

⑪太田熱海病院健康フォーラムin猪苗代

開催日：2024年3月30日
会場：猪苗代町体験交流館「学びいな」学びいなホール
講演Ⅰ：太田熱海病院 脳神経内科 部長 門脇 傑 先生
「はじめてでも分かる、もの忘れ、認知症のキホン」
講演Ⅱ：太田熱海病院 病院長 丹治 雅博 先生
「高血圧と心臓のお話：あなたの心臓は大丈夫ですか？」
参加人数：129名

6 . 研 修 事 業

- (1) 職員の学会派遣 延べ 1,417名
- (2) 教育研修（新採用職員研修等） 7コース 延べ 597名
- (3) 臨床研修医受入状況 9名
- (4) 医学、薬学及び看護学生等の実習生（学生）受入状況 1,012名 延べ 12,158名
- (5) 消防署関連救急医療実習受入状況 107名 延べ 479名
- (6) 一般実習受入状況 8名 延べ 9名

7 . 研 究 に 関 す る 事 業

- (1) 学会発表演題数 71題
- (2) 論文発表数 7題
- (3) 剖検数 6体
- (4) 治験薬施用承認件数 0件

8 . 養 成 事 業

太田看護専門学校の状況

- (1) 学生数 (年度末現在)
 - 1年 70名
 - 2年 77名
 - 3年 79名合計 226名
- (2) 入学者数 71名
- (3) 卒業者数 79名

9 . 育 英 事 業

- (1) 医学生育英奨学金貸与者数 1名
- (2) 入院就学児童生徒等学習指導 16名
- (3) 福島県立須賀川支援学校郡山校 一般財団法人太田総合病院訪問学級
(太田西ノ内病院内) に協力 9名

10 . 保 育 事 業

保育児数 (0～5歳児) (年度末現在) 142名

11 . 無 料 低 額 診 療

生活困窮者等に対する医療費の無料・低額件数 63,445件

12 . 庶 務 事 項

- (1) ①2023年4月1日 太田西ノ内病院 病院長変更 (新保卓郎から高橋皇基へ)
- ② 5月5日 太田西ノ内病院 電子カルテ更新
- ③ 6月24日 太田総合病院 代表理事変更 (太田健三から太田善雄へ)
- ④ 10月16日 太田西ノ内病院 ホームページリニューアル公開
- ⑤ 16日 太田西ノ内病院 ハイパーサーミア導入
- ⑥ 12月11日 太田総合病院 ホームページトップページリニューアル公開

- ⑦ 13日 太田西ノ内病院・太田熱海病院 コンビニエンスストア オープン
- ⑧2024年1月6日 太田西ノ内病院 能登半島地震によるDMAT派遣
- ⑨ 9日 太田熱海病院 電子カルテ運用開始
- ⑩ 9日 介護老人保健施設桔梗 介護システム導入
- ⑪ 16日 太田西ノ内病院 高機能血管撮影装置 (DSA) 稼働

(2) 育児休職制度利用者 65名 (男性15名、女性50名)

(3) 介護休職制度利用者 4名 (男性1名、女性3名)

(4) 看護職員再雇用制度 登録者 2名

(5) 第51回係長相当職昇任資格選考試験
受験者数 41名 合格者数 21名

(6) 勤務者数 (年度末現在)
1,987名 (前年度2,045名) (平均年齢42.3歳・平均勤続年数16.0年)

13. 主な行事報告

全体事項

- 2023年4月1日 新採用職員辞令交付 (119名のうち研修医4名)
- 6月2日 監事監査
- 9日 定例理事会
- 24日 定時評議員会・評議員会・臨時理事会
- 10月6日 財団法人設立記念表彰式 (郡山ビューホテル)
 - ・永年勤続表彰
勤続40年2名、勤続30年28名、勤続20年35名、勤続10年43名 計108名
 - ・太田奨励賞
団体 正賞 太田西ノ内病院コロナチーム
個人 準賞 太田西ノ内病院小児科医員 木庭毅人
 - ・特別表彰
団体 うねめまつり踊り流しチーム
個人 太田西ノ内病院特任病院長 川前金幸
- 10月21日 第39回解剖慰霊祭 (郡山斎場)
- 11月29日 第27回太田総合病院学会 (けんしん郡山文化センター)
- 11月30日 地域連携懇談会 (郡山ビューホテルアネックス)
- 2024年3月23日 定例理事会・評議員会
- 29日 定年等辞令交付式 (39名)

太田西ノ内病院

- 2023年4月1日 新任医師オリエンテーション
- 3日 臨床研修医オリエンテーション (～8日)
- 5月6日 電子カルテ更新
- 7月26日 高校生一日看護体験 (2回目 8月1日)
- 8月2日 郡山市議会議員一般選挙に係る不在者投票
- 3日 厚生労働省・東北厚生局・福島県による社会保険医療担当者の特定共同指導 (～4日)
- 4日 臨床研修医採用試験 (2回目 8月10日、3回目 8月16日)
- 28日 第1回総合防災訓練 (配信形式) (～9月30日)
- 9月28日 総合防災イベント「そなえる・ふくしま2023」(ビックパレット福島)
- 10月30日 病院機能評価受審 (～31日)

- 11月7日 福島県議会議員一般選挙に係る不在者投票
- 12月4日 特定計量器検査（～5日）
- 17日 医師のための緩和ケア研修会
- 2024年1月25日 病院立入検査（保健所監査）
- 3月14日 第2回総合防災訓練（配信形式）（～31日）
- 28日 臨床研修医修了証書授与式

太田熱海病院

- 2023年7月21日 太田熱海病院グリーンカフェ（2回目 9月15日、3回目 11月17日）
- 8月2日 郡山市議会議員一般選挙に係る不在者投票
- 8月8日 高校生一日看護体験
- 8月25日 緑風苑防災訓練
- 11月8日 福島県議会議員一般選挙に係る不在者投票
- 10日 特定計量器定期検査
- 17日 総合防災訓練
- 2024年1月9日 電子カルテ稼働
- 1月23日 病院立入検査（保健所監査）
- 2月10日 市民公開講座（熱海町 ほっとあたま）
- 3月30日 健康フォーラム in 猪苗代（猪苗代町 学びいなホール）

介護老人保健施設桔梗

- 2023年7月5日 七夕会
- 8月2日 郡山市議会議員一般選挙に係る不在者投票
- 9月20日 敬老会
- 10月13日 地域貢献清掃活動
- 11月8日 福島県議会議員一般選挙に係る不在者投票
- 12月20日 クリスマス会
- 2024年1月9日 介護システム導入
- 31日 節分会
- 3月6日 ひな祭り会
- 7日 防災訓練（ビデオ研修＋消火器取り扱い訓練）

太田看護専門学校

- 2023年4月6日 48回生入学式（71名）
- 5月6日 3年生保護者説明会（Web型併用）
- 20日 学校見学会（他11月25日、3月23日開催）（32名参加）
- 6月17日 オープンスクール（他7月8日、8月18日、8月20日開催）（170名参加）
- 23日 春季避難訓練
- 24日 校内球技大会
- 8月5日 2年生保護者説明会（Web型併用）
- 9月21日 秋桜祭（～22日）
- 29日 戴帽式
- 1年生保護者説明会（Web型併用）
- 11月2日 推薦入試
- 20日 秋季避難訓練
- 12月14日 一般入試（前期）
- 2024年1月25日 一般入試（後期）
- 2月11日 看護師国家試験（79名受験、75名合格）
- 14日 福島県准看護師試験（78名受験、78名合格）
- 3月8日 46回生卒業式（79名）
- 11日 49回生入学前オリエンテーション

財 務 諸 表

－ 2 0 2 3 年 度 －

貸 借 対 照 表

正 味 財 産 増 減 計 算 書

貸借対照表

2024年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	5,589,302,501	10,270,127,527	-4,680,825,026
未収金	4,133,908,551	4,356,543,153	-222,634,602
貯蔵品	81,683,982	82,566,560	-882,578
医薬品	192,184,403	199,454,410	-7,270,007
医療材料	176,855,182	188,489,834	-11,634,652
給食用材料	3,797,607	3,777,849	19,758
前払費用	93,805,653	88,107,448	5,698,205
未収補助金	295,273,008	509,768,318	-214,495,310
立替金	6,981,467	1,689,344	5,292,123
仮払金	3,272,793	1,233,278	2,039,515
貸倒引当金	-41,906,999	-44,373,813	2,466,814
流動資産合計	10,535,158,148	15,657,383,908	-5,122,225,760
2 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	899,000,000	899,000,000	0
基本財産合計	899,000,000	899,000,000	0
(2) 特定資産			
建物	237,958,498	272,536,166	-34,577,668
車両運搬具	1	1	0
医療用器械備品	171,357,577	210,394,030	-39,036,453
その他の器械備品	45,626,976	58,912,624	-13,285,648
特定資産合計	454,943,052	541,842,821	-86,899,769
(3) その他固定資産			
建物	6,999,505,253	7,022,891,820	-23,386,567
構築物	43,194,547	37,595,857	5,598,690
車両運搬具	4,376,206	6,988,792	-2,612,586
医療用器械備品	1,547,201,582	1,143,666,075	403,535,507
その他の器械備品	490,509,736	212,547,264	277,962,472
土地	3,309,869,755	3,309,869,755	0
建設仮勘定	0	11,880,000	-11,880,000
電話加入権	4,779,924	4,779,924	0
ソフトウェア	1,280,551,297	124,958,071	1,155,593,226
リース資産	540,265,544	84,191,896	456,073,648
敷金	9,230,000	9,249,000	-19,000
保証金	150,000	150,000	0
関連会社株式	5,000,000	5,000,000	0
出資金	30,000	30,000	0
ゴルフ会員権	300,000	300,000	0
奨学生貸付金	73,790,000	70,660,000	3,130,000
保険積立金	57,435,910	337,953,400	-280,517,490
長期前払費用	3,477,757	139,470	3,338,287
その他固定資産合計	14,369,667,511	12,382,851,324	1,986,816,187
固定資産合計	15,723,610,563	13,823,694,145	1,899,916,418
資産の部合計	26,258,768,711	29,481,078,053	-3,222,309,342
II 負債の部			
1 流動負債			
買掛金	2,974,683,215	3,162,370,756	-187,687,541
未払金	1,218,113,317	834,628,464	383,484,853
未払費用	271,075,483	282,480,186	-11,404,703
未払法人税等	72,000	72,000	0
未払消費税等	1,296,300	6,789,800	-5,493,500

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
仮受金	114,840	11,437	103,403
前受金	14,953,360	14,823,760	129,600
預り金	163,783,244	88,552,062	75,231,182
短期借入金	4,700,000,000	5,650,000,000	-950,000,000
1年内返済予定長期借入金	743,695,000	624,794,000	118,901,000
賞与引当金	554,517,294	573,726,443	-19,209,149
1年内返済予定リース債務	20,451,123	63,748,145	-43,297,022
流動負債合計	10,662,755,176	11,301,997,053	-639,241,877
2 固定負債			
長期借入金	2,492,654,000	2,705,514,000	-212,860,000
退職給付引当金	7,534,269,924	7,140,668,245	393,601,679
役員退職慰労引当金	50,666,666	193,340,416	-142,673,750
リース債務	0	20,451,123	-20,451,123
固定負債合計	10,077,590,590	10,059,973,784	17,616,806
負債の部合計	20,740,345,766	21,361,970,837	-621,625,071
Ⅲ 正味財産の部			
1 基金			
2 指定正味財産			
国庫補助金	14,791,642	0	14,791,642
地方公共団体補助金	281,542,985	353,773,715	-72,230,730
民間補助金	13,457,427	17,247,402	-3,789,975
寄付金	4,254,572	6,004,759	-1,750,187
受贈土地	899,000,000	899,000,000	0
指定正味財産合計	1,213,046,626	1,276,025,876	-62,979,250
(うち基本財産への充当額)	(899,000,000)	(899,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(314,046,626)	(377,025,876)	(-62,979,250)
3 一般正味財産			
一般正味財産合計	4,305,376,319	6,843,081,340	-2,537,705,021
(うち特定資産への充当額)	(140,896,426)	(164,816,945)	(-23,920,519)
正味財産の部合計	5,518,422,945	8,119,107,216	-2,600,684,271
負債及び正味財産合計	26,258,768,711	29,481,078,053	-3,222,309,342

正味財産増減計算書

2023年 4月 1日から2024年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益	25,021,483,518	25,354,151,544	-332,668,026
医業収益	24,469,046,316	24,776,934,466	-307,888,150
入院収益	13,250,594,772	13,186,029,664	64,565,108
外来収益	10,622,473,725	11,034,875,645	-412,401,920
室料差額収益	72,014,500	12,450,500	59,564,000
保健予防活動収益	186,529,387	207,071,349	-20,541,962
医療相談収益	180,389,641	172,309,113	8,080,528
受託検査収益	27,282,911	28,078,821	-795,910
委託料収益(医業)	12,068,000	12,756,025	-688,025
その他の医療収益	117,693,380	123,363,349	-5,669,969
介護収益	552,437,202	577,217,078	-24,779,876
介護保険収益	426,940,502	448,349,675	-21,409,173
介護入所収益	68,567,278	73,803,490	-5,236,212
介護通所収益	18,904,291	17,689,661	1,214,630
介護室料差額収益	123,360	158,640	-35,280
介護保健予防活動	802,098	977,867	-175,769
委託料収益(介護)	35,980,000	35,520,000	460,000
その他の介護収益	1,119,673	717,745	401,928
収益事業収益	50,967,294	47,348,760	3,618,534
収益事業収益	50,967,294	47,348,760	3,618,534
看護専門学校事業収益	134,471,500	142,285,500	-7,814,000
看護専門学校事業収益	134,471,500	142,285,500	-7,814,000
保育園事業収益	61,874,745	63,164,972	-1,290,227
保育園事業収益	61,874,745	63,164,972	-1,290,227
保養所収益	13,686,490	13,941,478	-254,988
保養所収益	13,686,490	13,941,478	-254,988
受取補助金等	1,304,326,338	3,671,915,506	-2,367,589,168
受取国庫補助金	30,121,000	34,718,000	-4,597,000
受取地方公共団体補助金	1,125,082,000	3,468,145,099	-2,343,063,099
受取民間補助金	24,032,808	23,295,058	737,750
受取国庫助成金	4,431,767	21,206,520	-16,774,753
受取地方公共団体助成金	40,438,200	42,603,380	-2,165,180
受取補助金等振替額	80,220,563	81,947,449	-1,726,886
受取寄付金	1,800,187	2,699,997	-899,810
受取寄付金	50,000	30,000	20,000
受取寄付金振替額	1,750,187	2,669,997	-919,810
雑収益	72,273,007	83,076,431	-10,803,424
受取利息・配当金	73,793	83,420	-9,627
雑収益	72,199,214	82,993,011	-10,793,797
経常収益計	26,660,883,079	29,378,584,188	-2,717,701,109
(2) 経常費用			
事業費	28,739,096,982	28,686,928,577	52,168,405
材料費(事)	9,903,491,582	9,979,000,446	-75,508,864
医薬品費(事)	6,718,768,930	6,664,931,964	53,836,966
医療材料費(事)	2,356,278,851	2,351,539,071	4,739,780
検査費(事)	428,214,570	592,227,615	-164,013,045
給食費(事)	187,084,360	182,184,220	4,900,140
医療消耗器具費(事)	213,144,871	188,117,576	25,027,295
給与費(事)	13,092,427,205	13,198,452,047	-106,024,842
給料(事)	8,016,702,252	8,139,634,552	-122,932,300

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
賞与手当 (事)	1,158,790,158	1,173,331,780	-14,541,622
非常勤給料 (事)	844,112,162	728,425,990	115,686,172
退職給付費用 (事)	1,089,871,111	1,150,946,179	-61,075,068
法定福利費 (事)	1,440,476,775	1,445,061,472	-4,584,697
賞与引当金繰入 (事)	542,474,747	561,052,074	-18,577,327
委託費 (事)	549,407,530	673,633,387	-124,225,857
警備委託費 (事)	55,336,800	55,336,800	0
清掃委託費 (事)	118,560,192	116,850,062	1,710,130
医事委託費 (事)	8,379,425	3,241,160	5,138,265
洗濯委託費 (事)	44,575,038	42,212,999	2,362,039
廃棄物委託費 (事)	63,020,543	68,437,699	-5,417,156
その他の委託費 (事)	139,045,124	116,075,323	22,969,801
検査委託費 (事)	120,490,408	271,479,344	-150,988,936
設備費 (事)	2,456,408,138	2,094,884,642	361,523,496
減価償却費 (事)	1,527,030,107	1,259,502,243	267,527,864
リース等 (事)	78,577,529	81,456,173	-2,878,644
修繕費 (事)	203,205,265	129,155,885	74,049,380
車輛費 (事)	7,788,182	7,202,985	585,197
固定資産税等 (事)	170,573,235	170,252,660	320,575
器機設備保険料 (事)	6,710,649	6,120,536	590,113
器機保守料 (事)	462,523,171	441,194,160	21,329,011
研究研修費 (事)	77,264,708	56,104,736	21,159,972
図書費 (事)	30,955,914	30,366,598	589,316
研究研修旅費 (事)	39,631,480	22,377,421	17,254,059
研究諸費 (事)	6,677,314	3,360,717	3,316,597
経費 (事)	2,583,188,554	2,611,710,935	-28,522,381
福利厚生費 (事)	101,151,109	100,054,027	1,097,082
旅費交通費 (事)	82,986,033	66,626,906	16,359,127
職員被服費 (事)	54,133,873	57,308,393	-3,174,520
通信運搬費 (事)	45,303,877	41,399,660	3,904,217
消耗品費 (事)	201,009,451	193,860,948	7,148,503
消耗備品費 (事)	73,102,561	51,530,020	21,572,541
会議費 (事)	0	24,522	-24,522
光熱水費 (事)	489,737,411	506,423,146	-16,685,735
燃料費 (事)	57,859,560	56,510,197	1,349,363
賃借料 (事)	81,051,509	70,165,411	10,886,098
保険料 (事)	33,524,606	34,091,468	-566,862
交際接待費 (事)	14,635,488	11,398,044	3,237,444
諸会費 (事)	8,710,024	9,122,790	-412,766
租税公課 (事)	1,296,431	2,020,120	-723,689
広報費 (事)	9,068,753	886,878	8,181,875
貸倒引当金繰入 (事)	2,290,886	2,328,668	-37,782
診療費減免額 (事)	68,258,163	69,953,108	-1,694,945
控除対象外消費税等負担額 (事)	1,206,161,785	1,229,607,733	-23,445,948
支払手数料 (事)	38,144,273	22,914,958	15,229,315
雑費 (事)	14,762,761	85,483,938	-70,721,177
公益事業費 (事)	33,260,279	28,887,805	4,372,474
公共賛助金 (事)	33,260,279	28,887,805	4,372,474
支払利息 (事)	43,648,986	44,254,579	-605,593
支払利息 (事)	43,648,986	44,254,579	-605,593
管理費	409,466,656	437,061,679	-27,595,023
給与費 (管)	270,720,119	298,603,336	-27,883,217
役員報酬 (管)	63,373,333	77,440,000	-14,066,667

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
給料 (管)	109,844,731	119,236,316	-9,391,585
賞与手当 (管)	15,012,458	17,418,655	-2,406,197
非常勤給料 (管)	10,190,746	6,673,095	3,517,651
退職給付費用 (管)	24,194,350	26,000,290	-1,805,940
法定福利費 (管)	25,624,454	27,410,611	-1,786,157
役員退職慰労引当金繰入 (管)	10,437,500	11,750,000	-1,312,500
賞与引当金繰入 (管)	12,042,547	12,674,369	-631,822
委託費 (管)	5,562,787	5,499,200	63,587
警備委託費 (管)	1,234,800	1,232,400	2,400
清掃委託費 (管)	150,000	120,000	30,000
その他の委託費 (管)	4,177,987	4,146,800	31,187
設備費 (管)	19,250,291	31,620,667	-12,370,376
減価償却費 (管)	5,840,098	6,267,526	-427,428
リース等 (管)	25,710	61,704	-35,994
修繕費 (管)	252,995	13,455,500	-13,202,505
車輛費 (管)	1,767	750	1,017
固定資産税等 (管)	9,769,845	9,706,260	63,585
器機設備保険料 (管)	179,283	150,176	29,107
器機保守料 (管)	3,180,593	1,978,751	1,201,842
研究研修費 (管)	2,057,530	1,315,769	741,761
図書費 (管)	466,740	479,969	-13,229
研究研修旅費 (管)	427,320	155,147	272,173
研究諸費 (管)	1,163,470	680,653	482,817
経費 (管)	82,182,030	67,850,808	14,331,222
福利厚生費 (管)	5,065,388	2,528,999	2,536,389
旅費交通費 (管)	2,319,951	456,955	1,862,996
職員被服費 (管)	6,356,602	8,021,421	-1,664,819
通信運搬費 (管)	2,014,496	1,622,445	392,051
消耗品費 (管)	5,519,584	4,372,105	1,147,479
消耗備品費 (管)	563,004	276,175	286,829
会議費 (管)	7,798	14,512	-6,714
光熱水費 (管)	874,992	1,051,214	-176,222
賃借料 (管)	8,985,208	8,941,590	43,618
保険料 (管)	26,320	25,380	940
交際接待費 (管)	2,980,713	1,821,778	1,158,935
諸会費 (管)	2,882,148	2,714,493	167,655
租税公課 (管)	6,721,652	6,706,125	15,527
広報費 (管)	8,238,294	3,732,598	4,505,696
控除対象外消費税等負担額 (管)	5,537,274	5,707,524	-170,250
支払手数料 (管)	22,684,996	18,389,649	4,295,347
雑費 (管)	1,403,610	1,467,845	-64,235
公益事業費 (管)	16,910,000	15,787,000	1,123,000
公共賛助金 (管)	560,000	487,000	73,000
育英事業費 (管)	16,350,000	15,300,000	1,050,000
支払利息 (管)	12,783,899	16,384,899	-3,601,000
支払利息 (管)	12,783,899	16,384,899	-3,601,000
経常費用計	29,148,563,638	29,123,990,256	24,573,382
評価損益等調整前当期経常増減額	-2,487,680,559	254,593,932	-2,742,274,491
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	-2,487,680,559	254,593,932	-2,742,274,491
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
その他	0	22,410,000	-22,410,000

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
その他経常外収益	0	22,410,000	-22,410,000
経常外収益計	0	22,410,000	-22,410,000
(2) 経常外費用			
固定資産売却損・除却損	4,004,968	5,862,996	-1,858,028
什器備品等除却損	4,004,968	5,862,996	-1,858,028
その他	45,947,494	0	45,947,494
その他経常外費用	45,947,494	0	45,947,494
経常外費用計	49,952,462	5,862,996	44,089,466
当期経常外増減額	-49,952,462	16,547,004	-66,499,466
税引前当期一般正味財産増減額	-2,537,633,021	271,140,936	-2,808,773,957
法人税、住民税及び事業税	72,000	72,000	0
当期一般正味財産増減額	-2,537,705,021	271,068,936	-2,808,773,957
一般正味財産期首残高	6,843,081,340	6,572,012,404	271,068,936
一般正味財産期末残高	4,305,376,319	6,843,081,340	-2,537,705,021
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	18,991,500	3,708,100	15,283,400
受取国庫補助金	15,532,000	0	15,532,000
受取地方公共団体補助金	3,459,500	3,708,100	-248,600
受取寄付金	0	1,000,000	-1,000,000
受取寄付金	0	1,000,000	-1,000,000
一般正味財産への振替額	81,970,750	84,617,446	-2,646,696
一般正味財産への振替額	81,970,750	84,617,446	-2,646,696
当期指定正味財産増減額	-62,979,250	-79,909,346	16,930,096
指定正味財産期首残高	1,276,025,876	1,355,935,222	-79,909,346
指定正味財産期末残高	1,213,046,626	1,276,025,876	-62,979,250
III 基金増減の部			
IV 正味財産期末残高	5,518,422,945	8,119,107,216	-2,600,684,271

監査報告書

2024年5月31日

一般財団法人 太田綜合病院
理事長 太田 善雄 様

一般財団法人 太田綜合病院

監事 齊藤久之丞

監事 金森 良

私たち監事は、2023年4月1日から2024年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計監査人から、会計監査報告を受領し、当該事業年度の監査を行うに当たり特に考慮した監査上の危険、監査計画及び実施した監査手続き等の報告を受け、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正に監査を行っていることを確かめました。また、会計監査人の職務の遂行が適正に実施されることを確保するための体制の整備について通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法によって、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ①事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人の監査の方法及び結果、並びに監査意見は、相当であると認めます。

以上

独立監査人の監査報告書

2024年5月31日

一般財団法人 太田綜合病院
理 事 会 御 中

渡辺 公認会計士事務所
福島県郡山市
公認会計士 渡辺和栄

長沢 公認会計士事務所
千葉県流山市
公認会計士 長沢 誠

監査意見

私たちは、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第199条において準用する同法124条第2項第1号の規定に基づき、一般財団法人 太田綜合病院の2023年4月1日から2024年3月31日までの2023年度の貸借対照表、損益計算書（公益法人会計基準に基づく「正味財産増減計算書」をいう。）及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書（以下「財務諸表等」という。）について監査を行った。

私たちは、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産及び損益（正味財産増減）の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

私たちは、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私たちの責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。私たちは、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私たちは、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

私たちの財務諸表等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、私たちはその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表等の監査における私たちの責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表等又は私たちが監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内

容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

私たちは、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、私たちが報告すべき事項はない。

財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事者は、継続組織の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続組織に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続組織を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続組織の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続組織の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査

人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続組織として存続できなくなる可能性がある。

- ・ 財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

法人と私たちとの間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

役 員 名 簿

(2024年3月末日現在)

理 事 長	太 田 善 雄	監 事	齊 藤 久 之 丞
副 理 事 長	丹 治 雅 博	〃	金 森 良
常 務 理 事	相 楽 充 成		
常 任 理 事	高 橋 皇 基	会 長	太 田 健 三
〃	迎 慎 二		
〃	井 上 実 三	顧 問	福 井 次 矢
理 事	太 田 健 三		
〃	糠 澤 修 一		
〃	太 田 宏 子		
〃	太 田 三 知 子		
〃	伊 藤 清 郷		
〃	山 崎 繁		
〃	新 保 卓 郎		
評 議 員	有 馬 賢 一	評 議 員	齋 藤 ちづ子
〃	石 田 宏 壽	〃	佐 久 間 盛 徳
〃	伊 藤 和	〃	高 橋 京 子
〃	今 泉 守 顕	〃	坪 井 永 保
〃	太 田 聖 一	〃	福 井 邦 顕
〃	大 槻 順 一	〃	渡 邊 健 寿
〃	菊 地 俊 彦		